

7 車両

番号	対策の名称										
⑧	安全性と燃費性能を踏まえたタイヤ交換マネジメント										
内容	降雪地域では、雪道や凍結した路面でも、安全に走行するために、冬季に冬用タイヤ（スタッドレスタイヤ）に交換します。 スタッドレスタイヤとノーマルタイヤの特徴を下表に示します。										
		<table><tr><th></th><th>スタッドレスタイヤ</th><th>ノーマルタイヤ</th></tr><tr><td>強み</td><td>雪道や凍結した路面でもグリップ力を発揮できる。</td><td>熱に強く、濡れた路面での排水性能に優れている。 運動性能（走る・止まる・曲がる）に優れている。</td></tr><tr><td>弱み</td><td>運動性能、燃費性能に劣る。 熱に対する耐久性に劣る。</td><td>雪道や凍結路面では性能を発揮できず、スリップの原因になる。</td></tr></table>		スタッドレスタイヤ	ノーマルタイヤ	強み	雪道や凍結した路面でもグリップ力を発揮できる。	熱に強く、濡れた路面での排水性能に優れている。 運動性能（走る・止まる・曲がる）に優れている。	弱み	運動性能、燃費性能に劣る。 熱に対する耐久性に劣る。	雪道や凍結路面では性能を発揮できず、スリップの原因になる。
		スタッドレスタイヤ	ノーマルタイヤ								
	強み	雪道や凍結した路面でもグリップ力を発揮できる。	熱に強く、濡れた路面での排水性能に優れている。 運動性能（走る・止まる・曲がる）に優れている。								
	弱み	運動性能、燃費性能に劣る。 熱に対する耐久性に劣る。	雪道や凍結路面では性能を発揮できず、スリップの原因になる。								
	 左：スタッドレスタイヤ、右：ノーマルタイヤ (ブリヂストンのサイトより引用) https://www.bridgestone.co.jp/blog/2017020701.html										
	旅客運送業（タクシー会社）では、スタッドレスタイヤを冬季に着用してから溝が無くなるまで、夏季も履き替えずに継続して使用し、履きつぶす運用をしている場合があります。しかし、タイヤとしての元々の性能や役割を考えると、降雪時期（11月頃から3月頃まで）はスタッドレスタイヤを使用し、雪の降らない時期（4月頃から10月頃）はノーマルタイヤに履き替える運用が、冬季の安全走行と夏季の燃費向上につながり、安全面、及び環境負荷やコスト面で有利であるといえます。 降雪時期に合わせたタイミングで、タイヤを交換でき、交換したタイヤの適切な保管が可能であれば、夏季と冬季でタイヤを履き替える運用をお勧めします。										
効果	コストで比較すると、履きつぶす場合は、夏季の燃費悪化分（約10%悪化）とタイヤ自体の寿命が短くなることでのタイヤ購入費用の増分が生じます。一方、交換する場合は、タイヤ交換費用とタイヤ保管場所と費用が生じます。一般的には、前者のほうがコスト負荷は大きくなります。										
ポイント	・安全性、耐久性、燃費性能のいずれも、夏季にスタッドレスタイヤを着用するメリットは、全くありません。										